

森正一

もりしょういち

活動報告 第42号

発行日 令和4年7月11日 / 発行者 もり正一後援会 (討議資料)
連絡先 館山市八幡277-19 / TEL 090-2652-3218
ホームページ <http://www.awanew.com>



森正一 プロフィール

- ・昭和42年5月17日生まれ、55歳
- ・北条小、三中、安房高、東北大学工学部卒
- ・館山市議会議員、現在3期12年目
- ・文教民生委員会委員
- ・たてやま21・緑風会会派代表
- ・北条FC代表、館山市サッカー協会監事

はじめに

令和4年第2回館山市議会定例会が6月9日から6月28日までの会期で開催され、一般質問において「少子化の進展、出生数の減少について」、「未利用市有地の利活用について」、「ドローンの活用について」、「市道の補修について」など、5項目について質問しましたのでご報告させていただきます。

行政 一般質問 1

質問・回答要旨・所感

少子化の進展、 出生数の減少に ついて



Q1) 少子化の進展・出生数の減少に伴い、教育施設等の統廃合以外で、今後、どのような問題が生じて来ると想定しているか？

A1) 少子化の影響により、今後、産科や子供用品・学校用品を扱う店舗の撤退が想定される。また、将来的には、労働力不足や後継者不足により、地域経済が停滞するとともに、社会保障制度の維持が困難になることが予想される。さらに、歳入の減少による市の財政への影響だけではなく、市民生活の基盤である地域コミュニティや地域公共交通の存続危機、地域での支え合い・助け合いといった地域活力の低下などを招くおそれもある。

Q2) 少子化対策として、教育費負担の更なる軽減、住宅支援の充実など、子育て世代の経済的な負担を軽減し、安心して子どもを産み育てられる環境の充実が必要であ

る。財政状況の厳しい中、独自に予算をかけて新たな事業を展開することは厳しいと思うが、何か効果的な対策を打ち出すべきではないか？

A2) 少子化を根本的に解決するためには、若い世代が結婚・出産・子育てを希望し、実現することで、出生数を向上させることが重要となる。少子化対策は、国や県を挙げて長期的に取り組むべき課題であると認識しているが、館山市としては、若い世代にとって魅力的な働く場を確保し、住み続けたいと思えるまちづくりを進めることが重要であると考えている。具体的には、テレワークやワーケーションの推進、関係人口の創出、移住・定住の促進などを実施し、専門性を身につけた若者や女性が能力を活かせる環境の整備を進めている。あわせて、子育てコンシェルジュや子育て世代包括支援センター「たてっ子」などで、子育て家庭に切れ目のないきめ細かい支援を行うとともに、元気な広場の更なる活用や子ども医療費の給付など、子育て環境の充実を図っている。これらの取り組みに対する声を参考にしながら、子育て世代の就労環境や子育て環境を整備することで、さらなる少子化対策・人口減少対策を推進したいと考えている。